

生活環境影響調査書（案）に寄せられた意見書と組合の見解（全体版）

事業者として、生活環境の保全上の見地からのご意見に対する見解は以下のとおりです。

（その他質問と思われるものも含まれます。）

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
1	意見	環境	ダイオキシン	予測評価	調査書ダイオキシン類の予測（98頁）について 予測結果の表からは、既設焼却施設からの排出がバックグラウンド濃度の大きな部分を占めていると推測できます。とすれば、最大着地濃度出現点の排出ガス寄与濃度の予測が大きいにもかかわらずEA-3のバックグラウンド濃度と等しい値で予測するのは将来予測を過小評価することになります。また、他の物質の予測も過小評価している可能性があると思いますがいかがでしょうか？	本調査では、既存施設が稼働している状況下で、環境省指針に沿って現地調査を行い、その中で最大の濃度の調査結果と、計画施設の最大の影響を合成して、最大濃度出現の予測結果を求めました。予測結果でも、環境基準との比較では低くなっています。
2	意見	環境	大気	調査方法	調査は、「定常状態」においてなされたということですが、市民グループが何度も言うように、稼働開始時、焼却を終えた時点における環境調査が行われるべきではないでしょうか？	大気汚染の現況調査は、24時間連続で7日間行っています。
3	意見	環境	大気	調査方法	P100～P109にかけて、汚染物質の拡散予想が地図上に記されていますが、山に囲まれている下田の住宅地は、気象条件によっては逆転層が生じ、鍋にふたをしたような状態になってしまいます。煙突が50mにしる59mにしる、中学校や認定こども園と同じレベルから排ガスが吹き付ける状況になってしまいます（p112）。「技術が進歩しているから大丈夫」という楽観的な予想で始めてしまえば、現実になったときに大きな困難が生じます。ダウンウォッシュやダウンドラフトの危険性をP113やP115にて解説しておきながら、それらが敷根一帯に問題を起こす可能性については、市民に理解できないような数式を用いて説明しごまかそうというのは承服できません。	高濃度が発生しやすい逆転層の発生や、ダウンウォッシュ、ダウンドラフトという条件も考慮して予測を行っており、この条件においても、大気汚染物質の濃度は健康に被害を及ぼす状況にはならないと評価されています。
4	意見	環境	ダイオキシン	予測評価	今後、現焼却場内に新しく焼却施設を建設し1市3町のごみだけでなく、し尿処理の過程で発生する大量の汚泥までも燃やす計画になっています。従来よりも2倍以上のダイオキシンを含んだ排気ガスが周辺に漂うことになります。それにもかかわらず現況と変わらないという予測の根拠はどのようなものでしょう？	煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の濃度基準について、既存施設1ng-TEQ/m ³ Nに対し、計画施設では10分の1の0.1ng-TEQ/m ³ Nという自主基準値を設けます。ごみ処理量が2倍に増えても、外に排出されるダイオキシン類の量が増えることはないものと考えます。
5	意見	環境	ダイオキシン	予測評価	ダイオキシン類土壌調査（201～202頁） バックグラウンド濃度の数値、排出ガス寄与濃度の数値など予測結果の根拠がわかりません。新焼却施設の煙突からどの程度のダイオキシン類が出され、どのように拡散され、地上に落ち蓄積されていくのか。 今回の3地点の土壌調査で全国的に見ても高いレベルの調査データが示されています。（R5年3月環境省R3年度ダイオキシン類に係わる環境調査結果との比較）その数値の上に新たな汚染が蓄積されていくことを軽視しているのではないのでしょうか。処理技術の進歩があるとも言われますが基本計画では新工場の目標値は10分の1になっただけです。一方、燃やす量は約2倍になるのではないのでしょうか。わかりやすい説明をしてください。	現地調査での現況ダイオキシン類濃度であるバックグラウンド濃度に、計画施設の煙突からの広がりを予測した寄与濃度を加えて、将来濃度を求めています。
6	意見	環境	大気	調査方法	今ある焼却施設の排気ガスの総量やCO ₂ についての現況調査は実施されていませんが、これで予測ができるのでしょうか？	現地調査は環境省指針に沿って、4季のそれぞれ7日間、既存施設が稼働している状況下で行い、予測に必要な現況把握を行い予測しています。
7	意見	計画・建設・運営	計画	調査方法	計測の時期。例えば夏は7月下旬だが、下田は8月下旬に色々な面でピークをむかえる。計測の時期の見直し。	環境省指針に沿って、年間を通じて代表的な時期に調査しどれくらいの影響が生じるか予測・評価しました。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
8	意見	計画・建設・運営	計画	調査方法	敷根道路の交通量予測調査について 2023年9月15日の住民説明会を聞きましたが、現況調査も不十分であり具体性に欠け、とても納得できるものでありませんでした。特にゴミ搬入車両の台数が少なすぎると考えます。敷根道路や国道136号線の交通渋滞、特にゴミの量と交通量が大幅に増えるゴールデンウィークや夏の観光シーズンの大渋滞は深刻になると思います。責任ある説明を求めるものです。	環境省指針に沿って、年間を通じて代表的な時期に調査しどれくらいの影響が生じるか予測・評価しました。
9	意見	計画・建設・運営	計画	調査方法	日平均の台数を示していますが、夏季や年末の繁忙期台数を推計しなければ、受け入れの可能性や渋滞の予測が不正確なものになるのではないのでしょうか。つまり平均台数をもって渋滞などの生活環境に影響はないとする話は無意味ではないのでしょうか？ピーク時をもって予測し対策を立てるのが原則だと思いますがいかがでしょうか？	環境省指針に沿って、年間を通じて代表的な時期に調査しどれくらいの影響が生じるか予測・評価しました。
10	意見	計画・建設・運営	計画	調査方法	(P55)表5-1-3調査時期(大気質 夏季 令和5年7月1日(金)から7月27日(木)に実施していますが、8月12日～8月18日のピーク時とすべきです。降下ばいじんの6月28日(水)～7月28日(金)も同様です。	環境省指針に沿って、年間を通じて代表的な時期に調査しどれくらいの影響が生じるか予測・評価しました。
11	意見	環境	渋滞	—	説明会でも問題になりましたが、P158の表において、午前7時～11時のような、パッカー車がごみを集めて運び込むことができないような時間帯に計測車両が予想されています。環境対策課が言われたように、令和元年のピーク時ですでに一日375台の運び込みがあったということです。観光客が集まる時期にゴミも増え搬入車が集中することが考えられます。搬入が滞って何時間も待たされては、3町から来た車は仕事になりません。この渋滞問題をどう考えておられるのでしょうか？ 敷根1号線での交通量調査も実施されていますが、1市3町のごみの集積場となることと、近い将来伊豆縦貫自動車道敷根インターチェンジの開設と重なり、日常的に大渋滞が発生する心配があります。このことについていかがお考えでしょうか？	車両台数には、計画施設に勤務する者の車両も含んでいます。 施設の運用、収集運搬事業者の事業活動及び周辺交通に影響を生じさせないよう、構成市町及び収集運搬事業者等と協力して交通対策に取り組んでいきます。 また、伊豆縦貫自動車道は、周辺幹線道路の渋滞緩和に寄与するものと考えています。 なお、予測は、既存施設への搬入車両を除外せず、将来の計画車両を二重に加えたものとなっています。
12	意見	環境	渋滞	—	近い将来開設が予定されている伊豆縦貫自動車道の敷根インターの開設による交通量の増大を見込んだ渋滞予測が必要ではないのでしょうか？	車両台数には、計画施設に勤務する者の車両も含んでいます。 施設の運用、収集運搬事業者の事業活動及び周辺交通に影響を生じさせないよう、構成市町及び収集運搬事業者等と協力して交通対策に取り組んでいきます。 また、伊豆縦貫自動車道は、周辺幹線道路の渋滞緩和に寄与するものと考えています。 なお、予測は、既存施設への搬入車両を除外せず、将来の計画車両を二重に加えたものとなっています。
13	意見	環境	渋滞	—	生活環境影響調査に誤りがあり再縦覧というまさかの事態に驚きました。その理由の一つに数値を誤って記載したというのですが、数値を見ると誤って記載するような数値とは考えにくく調査の信憑性に大いに疑問を抱きました。また、将来予測としてただちに人体に影響を及ぼすような事はありませんという事ですが、単純に考えても今より燃やすものが多くなれば、排出される煙もより多くなり、車の出入りも今よりずっと多くなり、敷根地区は混雑するのではないかと思います。この点についてはいかがお考えですか？	車両台数には、計画施設に勤務する者の車両も含んでいます。 施設の運用、収集運搬事業者の事業活動及び周辺交通に影響を生じさせないよう、構成市町及び収集運搬事業者等と協力して交通対策に取り組んでいきます。 また、伊豆縦貫自動車道は、周辺幹線道路の渋滞緩和に寄与するものと考えています。 なお、予測は、既存施設への搬入車両を除外せず、将来の計画車両を二重に加えたものとなっています。
14	意見	計画・建設・運営	計画	運搬車両	市民への説明会でも質問がございましたが、1市3町から持ち込まれるごみの車輛が1日225台という推定は本当に信頼できるものでしょうか。都合よく作られたものではないのか、と疑問を持ちます。	車両の台数は、構成市町から実績の聞き取りを行った結果を精査し直したものです。
15	意見	計画・建設・運営	計画	運搬車両	収集運搬車両及び自家用車(ごみの持込)台数が、1日当たり225が270台に訂正されたが、その根拠を明らかにして下さい。かつて302台と発表されていたこととの関連について明確にして下さい。	車両の台数は、構成市町から実績の聞き取りを行った結果を精査し直したものです。
16	意見	計画・建設・運営	計画	運搬車両	225台から270台に変更になった理由を明らかにしてください。	車両の台数は、構成市町から実績の聞き取りを行った結果を精査し直したものです。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
17	意見	計画・建設・運営	計画	運搬車両	計画交通量ですが各町の収集、搬送計画が決まっていないのに現在の実績から単純計算するのは正確さを欠くのではないのでしょうか。	車両の台数は、構成市町から実績の間取りを行った結果を精査し直したものです。
18	意見	計画・建設・運営	計画	運搬車両	南伊豆町・松崎町・西伊豆町の3町からの小型車両の台数を現況と比べてどう推計したのでしょうか？	家庭から直接ごみを持ち込む車両は、距離や各町の取組により減少するものと見込んでいます。
19	意見	計画・建設・運営	計画	運搬車両	7ページの新施設の平面図を見て 平面図には20台の駐車場が描かれています。一部は従業員、来客用だと思いますが、大半は処理待ちのパッカー車やごみ持ち込み車両用でしょうか。私の経験では持ち込んだ場合に秤に乗り、ごみを焼却炉に入れ、再度秤に乗りお金を払うまで5分はかかります。広域処理になればどこの市町から来たかも明確にしなければならずさらに時間がかかるのではないのでしょうか。126ページの計画交通量ではピーク時1時間当たり50台も処理するようですが持ち込み車両等が道路まで溢れることになりませんか。	計量、ごみのピットへの投入、投入後の再計量等については、適切な運営ができるよう努めます。
20	意見	計画・建設・運営	計画	運搬車両	これまで焼却されてこなかったし尿汚泥や災害廃棄物の搬入台数はカウントされているのでしょうか？	し尿処理汚泥は、西伊豆町は現状でも町の施設に搬入し、焼却処理していることから含まれています。 災害廃棄物の処理は非常時であり、定常的な稼働時の予測と異なることから加えていません。
21	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	9月15日の説明会において、認定こども園の園庭、中学校の校庭、運動公園のグラウンドなどの土壌や大気の調査は行われていないことが分かりました。そこは調査が一番必要な所だと思います。ぜひ、追加調査をお願い致します。	焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。排ガスの広がりや、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50～59mと想定した場合、概ね600m～1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。なお、下田中学校やこども園、こども園入口は近接しており、高さも概ね同じであることから、排ガスの影響は同程度と推測されます。
22	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	敷根地区及び西本郷地区3か所での大気・土壌の調査結果で、地域全体の環境状況を判断することができるのでしょうか？測定地点は敷根1号線の沿線と小山田公園とした根拠は何でしょうか？	焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。排ガスの広がりや、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50～59mと想定した場合、概ね600m～1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
23	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>ダイオキシン類の土壌及び大気の調査箇所の追加について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のゴミ処理施設内 ・中学校グラウンド ・認定こども園 <p>※子育て支援センター ※市民スポーツセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷根公園グラウンド ・第一弘洋園内 ・第二弘洋園内 <p>計7カ所 ※子育て支援センターと市民スポーツセンターは同一敷地内ですので2者択一。 理由：焼却場煙突の南西方向900m以内には 公共施設として敷根公園・下田屋内プール・市民スポーツセンターなど年間利用者約20万1千人 教育施設など 子育て支援センター登録49人・認定こども園131人・下田中学校451人(各施設職員数含む)弘洋園571人などがあります。多くの市民のダイオキシン類による健康への影響が心配です。追加調査を求めるものです。</p>	<p>焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。排ガスの広がり、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50～59mと想定した場合、概ね600m～1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。なお、下田中学校やこども園、こども園入口は近接しており、高さも概ね同じであることから、排ガスの影響は同程度と推測されます。</p>
24	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>土壌や大気の調査で言えば、人のいる所、認定こども園、下田中学校、敷根運動公園、弘洋園などで何故、調査されていないのでしょうか。市民が安全に、安心して生活・利用できるように、是非、これらの場所での調査を要望します。</p>	<p>焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。排ガスの広がり、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50～59mと想定した場合、概ね600m～1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。なお、下田中学校やこども園、こども園入口は近接しており、高さも概ね同じであることから、排ガスの影響は同程度と推測されます。</p>
25	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>今回の調査は敷根地区2ヶ所と小山田公園のみの結果です。 猛毒のダイオキシン類の大気、土じょうの調査は下田中学校グラウンド、認定こども園園庭、敷根運動公園、焼却炉建設予定地など季節・時間帯のちがう風向きの時に、もっときめこまかく調査して下さい。 国の基準値をうのみにしないで下さい。 世界の流れはSDGsです。 まず3R（リサイクル、リユース、リデュース）の推進にとりくむべきです。 ゴミの減量に力をそそぎましょう。 ゴミは燃すのではなく資源化しましょう。</p>	<p>焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。排ガスの広がり、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50～59mと想定した場合、概ね600m～1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。なお、下田中学校やこども園、こども園入口は近接しており、高さも概ね同じであることから、排ガスの影響は同程度と推測されます。</p>
26	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>ダイオキシン類土壌汚染測定場所について 私は排気ガスが子どもたちや健康広場を利用される人々にどう影響するか心配です。認定こども園や中学校のグラウンド・敷根健康広場は測定されていません。また、ダイオキシン類発生の大元、現焼却場施設内での測定もされていません。市民が納得する調査、測定をしてください。</p>	<p>焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。排ガスの広がり、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50～59mと想定した場合、概ね600m～1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。なお、下田中学校やこども園、こども園入口は近接しており、高さも概ね同じであることから、排ガスの影響は同程度と推測されます。</p>

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
27	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	令和3年度環境省の全国発生源周辺247地点のダイオキシン類環境調査(土壌)によると、34pg-TEQ/gを超える地点は9地点しかありません。100pg-TEQ/gを超える地点はわずか2地点(最高値110)です。 今回の調査地点3地点はいずれも34~130pg-TEQ/gとなっています。このことから安全性を確認するためにも調査地点を追加しダイオキシン類等の調査を行う必要があると考えます。いかがですか?	現地調査の結果は、環境基準を大きく下回っており、さらに、計画施設からの排ガスによる影響は小さく、生活環境に支障を及ぼさないものと評価されています。 なお、調査地点の選定については、前述のとおりです。
28	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	生活環境保全の見地から考えれば、谷間にある現在の焼却施設は、平田川から敷根川につづく上流にありダイオキシンの濃度が基準値を超える数値が出ております。又認定子ども園の近くで測定された大気中の濃度が他の場所に比べ1番高い数値を示しています。 最悪の場所です。 1才~6才までの小さな子ども達です。 すぐに影響がでなくても蓄積されるダイオキシンがふりそそぐ場所です。 市の責任で認定子ども園園庭、中学校グラウンド、敷根グラウンド、弘洋園住宅地の土壌の調査の実施を求めます。	焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。 排ガスの広がり、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50~59mと想定した場合、概ね600m~1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。なお、下田中学校やこども園、こども園入口は近接しており、高さも概ね同じであることから、排ガスの影響は同程度と推測されます。
29	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	「春季と夏季にかけてダイオキシン類濃度が高くなった要因としては、降雨等により山地の土砂や、水路の堆積物が流失しやすくなり、流失した浮遊物質に付着したダイオキシン類が検出された可能性が考えられる。」(概要版P51)と調査結果でも言及しています。そうであるならば、どうして平田川の調査地周辺や上流の建設候補地(現焼却場)の土壌の調査を行わないのか、これもまた大いに疑問です。	焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。 排ガスの広がり、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50~59mと想定した場合、概ね600m~1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています
30	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	ダイオキシン類の測定点で、中学のグラウンド・又敷根公園の土じょうが必要ではないか。	焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。 排ガスの広がり、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50~59mと想定した場合、概ね600m~1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。なお、下田中学校やこども園、こども園入口は近接しており、高さも概ね同じであることから、排ガスの影響は同程度と推測されます。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
31	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>第4章生活環境影響調査項目の選定で水質については、「施設ではごみピット汚水、プラント排水、生活系排水については施設内で再利用又は処理することで、公共水域には排水しない。</p> <p>ただし、定期修繕等で再利用できない時期には、生活系排水のみ河川に放流する。周辺の水質に影響を及ぼすことはないと考えられる。」ことから現況の把握のみ行うこととした。</p> <p>四季ダイオキシン類水質の調査結果では、春季と夏季に高くなる傾向を示したが、環境基準との比較に用いる平均値は0.93pg-TEQ/Lであり、基準値（年平均値で1 pg-TEQ/L）を下回った。</p> <p>また、春季から夏季にかけてダイオキシン類濃度が高くなった要因としては、降雨等により山地の土砂や、水路の堆積物が流出しやすくなり、流出した浮遊物質に付着したダイオキシン類が検出された可能性が考えられるとした。</p> <p>現在もごみ処理施設から公共水域への排水はないものの、現況の把握では春季から夏季にかけてダイオキシン類濃度が環境基準を超える調査結果となった。</p> <p>このことは、施設からの排水以外に、施設からの排気等も水質に影響をあたえていることが想定される。</p> <p>また、他の調査項目の結果では、その多くが環境基準値を10分の1未満であるのに対し、水質（ダイオキシン類）は年平均値で若干、環境基準値をクリアする程度であった。よって、調査地点及び調査回数を増やすなど、より詳細な現況の把握を実施すると共に、他の調査項目と同様に、予測及び影響の分析結果の整理を行うことを求める。</p> <p>さらに、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、「河川、湖沼等におけるダイオキシン類常時監視マニュアル」に沿った対応を求める。</p> <p>1.4.1水質の基準値を超えた場合、水質の環境基準（1pg-TEQ/L）を超えた場合には、河川管理者は、地方自治体等と、今後の調査及び対策の進め方について連携を図る。</p>	<p>水中のダイオキシン類濃度に対して、影響を与えている要因を特定することは困難です。</p> <p>河川水中のダイオキシン類濃度は、季節等の影響により変動することから、環境基準が年平均で設定され、複数回調査した結果の平均で評価することとなっています。</p> <p>本調査では、この年平均値で環境基準値を下回っていることから、問題はないものと考えます。</p>
32	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>ダイオキシン類の水質調査の結果、春季1.3、夏季1.6pg-TEQ/Lと基準値の1を大きくこえているので、調査地点を増やして調査していただきたい。また附近の山々から流れてきたものと考えられるので、附近の山々、認定こども園、中学校、居住地の水及び土壌の調査を実施して下さい。松葉に含まれるダイオキシン類も調査して下さい。</p>	<p>本調査は、環境省指針等に基づき、周辺地域の現況把握を目的とした調査の項目・地点・頻度等を設定しており、いずれも環境基準を満たしています。なお、ダイオキシン類による水質の基準値は、年平均値となっています。</p>
33	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>(p195) 4季ダイオキシン類水質調査の結果、春季1.3、夏季1.6pg-TEQ/Lと環境基準の1以下を大きく超えている。月毎12回の調査や付近の土壌調査もすべきです。ダイオキシンを排出しない取組はできるのでしょうか。</p> <p>(p197) 土壌調査は令和5年2月21日（火）のみ、しかも3地点のみである。</p> <p>(p200) (p181) 煙突から4km四方は環境破壊がおこることではないか。</p>	<p>本調査は、環境省指針等に基づき、周辺地域の現況把握を目的とした調査の項目・地点・頻度等を設定しており、いずれも環境基準を満たしています。なお、ダイオキシン類による水質の基準値は、年平均値となっています。</p>
34	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>調査費が当初予算より半分以下でできたと聞いています。軽減されたお金で認定こども園、中学校のグラウンド、敷根公園、現焼却場施設内の土壌や、水路の堆積物のダイオキシン類の調査を是非やってください。</p>	<p>本調査は、環境省指針等に基づき、周辺地域の現況把握を目的とした調査の項目・地点・頻度等を設定しており、予測に必要な現状把握は行っています。</p>
35	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	<p>過去の調査で平田川でのダイオキシン類が環境基準を大きく上回っていることを承知していると思います。平田川流域における土壌のダイオキシン類が相当に堆積していることが推定できると思います。1市3町のごみ焼却施設等の建設予定地周辺の調査をすべきではなかったのではないのでしょうか？また、敷根運動公園・認定こども園・下田中学校などの文教施設の目の前でごみを燃やした排気ガスが出ています。これらの場所での調査が実施されていないのはなぜでしょうか？</p>	<p>焼却施設を想定した場合、土壌のダイオキシン類は、煙突排ガスに含まれるダイオキシン類の影響を受けると考えられるため、大気質調査と同じ地点で土壌調査を行う計画としました。</p> <p>排ガスの広がりや、煙突の高さが大きく影響し、煙突高を50～59mと想定した場合、概ね600m～1,000mの範囲内で影響が大きくなると想定されました。また、この範囲内においては、既存施設からの影響も、長期間にわたって一様に受けてきたと推測されることから、一定の範囲を代表する地点として、今回調査した3地点を設定しており、影響の予測に必要な現況把握は行われています。なお、下田中学校やこども園、こども園入口は近接しており、高さも概ね同じであることから、排ガスの影響は同程度と推測されます。</p>

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
36	意見	環境	ダイオキシン	調査地点・回数の追加	平田川のダイオキシン類汚染 194頁の調査結果を見ますと春期と夏期は環境基準を超えています。年平均では環境基準をクリアしているとしています。調査結果では春・夏の基準値超えを降雨により周辺山地に堆積した土砂や水路の堆積物が流出しやすくなったためと推定しています。焼却場の場内にも排ガスは降り注ぎます。また、場内には降った雨を流すための開渠の水路も存在しヘドロ状の堆積物があり、その水路の先は平田川です。原因を推定するだけでなく焼却場内の土壌、水路の堆積物のダイオキシン類の調査をしてください。	本調査は、環境省指針等に基づき、周辺地域の現況把握を目的とした調査の項目・地点・頻度等を設定しており、予測に必要な現状把握は行っています。
37	意見	全般	調査	結果	国が決めた基準値を、そのままのみにして「基準値より低いから大丈夫」という論調が続いています。しかし、日本が決めている基準値が、国際的には非常に問題があることは、ラウンドアップ・グリホサートといった除草剤がヨーロッパなどで禁止されていること、また、PFASの基準値が日本ではアメリカなどと比べて非常に高くなっていることなどを考えれば、そのまま認めて従っていいのでしょうか？ P195のダイオキシン濃度をみても、春・夏の値は基準値を超えています。それを「通年で平均化すれば基準値以下だから大丈夫」ということでいいのでしょうか？少なくとも、各期数日ずつという荒い調査ではなく、きめ細かく調べて、市民に、特に子供たちに、また漁業者にどのような影響があるか真剣に考える視点が必要ではないでしょうか？良心的な業者であるなら、「調査しました」という学生の作文のような報告書を出すのではなく、将来に向かって責任を持った報告が必要ではないでしょうか？繰り返しますが、将来を見据えて安全性を確保するための調査をする必要があるのではないのでしょうか？調査地点も市民目線で増やすべきではないかと思いたしますがいかがでしょうか。	本調査は、環境省指針等に沿って、最新の知見に基づき設定された基準と適切な比較を行い、その結果、生活環境に支障を及ぼさないものと評価されています。
38	意見	全般	調査	結果	この生活環境影響調査結果報告書は、市民の目線、市民の利便性、市民の健康を守るという視点が決定的に欠けており、「国の基準値を守れば市民の健康や生活はどうなってもいい」というお上目線、江戸時代のような思慮のない報告書といわざるをえません。この報告書に何千万もの予算をつぎ込んだのは、ムダ金を使ったに等しいと思われます。この報告書をもって建設にゴーサインを出すのはやめていただきたいと思いたします。	本調査は、環境省指針等に沿って、最新の知見に基づき設定された基準と適切な比較を行い、その結果、生活環境に支障を及ぼさないものと評価されています。
39	意見	全般	調査	結果	調査結果を見て隣に書いてある基準値と比べて少ないからと簡単に結論を出すのは疑問です。	本調査は、環境省指針等に沿って、最新の知見に基づき設定された基準と適切な比較を行い、その結果、生活環境に支障を及ぼさないものと評価されています。
40	意見	全般	調査	結果	私は市役所で直接、縦覧することはできませんでしたが、市のホームページで調査結果をみました。そして、調査書(概要版)をプリントアウトしました。最も気になったのはダイオキシン類の調査結果です。 敷根川上流の平田川の水質調査では年4回の調査のうちの二分の一、2回(春季と夏季)も環境基準値を超えています。にもかかわらず、市民への説明会では「人の健康に悪影響を及ぼす可能性がある重金属類についてはいずれの項目においても環境基準値を下回りました。」(説明会場で配布されたパンフP34)と報告されているだけです。4回のうち2回も環境基準を上回りながら、年平均すると基準の1以下だから『問題なし』とするのは乱暴な結論であり、『大いに疑問あり』です。	本調査は、環境省指針等に沿って、最新の知見に基づき設定された基準と適切な比較を行い、その結果、生活環境に支障を及ぼさないものと評価されています。
41	意見	環境	ダイオキシン	現況調査の評価	測定した3か所での土壌・大気及び平田川の水質でのダイオキシン類は県下の自治体と比べて大きく上回っていると思いたしますがいかがでしょうか？	調査結果では、いずれも環境基準に適合しています。 計画施設は既存施設よりも厳しい自主基準値で運用することで環境負荷の軽減に寄与するものと考えます。
42	意見	環境	ダイオキシン	現況調査の評価	ダイオキシン類の汚染が全国的に見ても極めて高い数値を示しています。子どもたちや市民の健康に対する影響についてどう評価されていますか？また、下田の海並びに周辺の山林等への影響についてどうお考えでしょうか？	調査結果では、いずれも環境基準に適合しています。 計画施設は既存施設よりも厳しい自主基準値で運用することで環境負荷の軽減に寄与するものと考えます。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
43	意見	環境	ダイオキシン	現況調査の評価	小山田公園の土壌中のダイオキシン類の調査結果は130ピコグラムとなっていますが、全国の都市公園の中でも極めて高い数値を示していると思いがいかでしょうか？	調査結果では、いずれも環境基準に適合しています。 計画施設は既存施設よりも厳しい自主基準値で運用することで環境負荷の軽減に寄与するものと考えます。
44	意見	環境	ダイオキシン	現況調査の評価	小山田公園で土壌中のダイオキシン類の数値は130ピコグラムとなっていますが全国的に見て、このような高い数値を示す公園はあるのでしょうか？また砂塵が舞い上がることによる大気中のダイオキシン類が環境基準を超える危険性はないのでしょうか？	調査結果では、いずれも環境基準に適合しています。 計画施設は既存施設よりも厳しい自主基準値で運用することで環境負荷の軽減に寄与するものと考えます。
45	意見	全般	調査	結果	基準値以内の数値でも、他個所に比べて数値が高ければ、いつれ、基準値以上の数値になると思う。	調査結果では、いずれも環境基準に適合しています。 計画施設は既存施設よりも厳しい自主基準値で運用することで環境負荷の軽減に寄与するものと考えます。
46	意見	環境	大気	予測評価	(P21) 敷根地域の山地に建設しては、上部500mに下田中学校、認定こども園、隣接地Ⅱは敷根公園、市街地は谷底平野に位置しています。(P30)(P100~P129) ダイオキシン類や水銀、窒素酸化物などの数え切れない有毒ガスが低濃度とはいえ、丸山や高根山、敷根の山々を越えられず市街地にただようことになっています。煙突高50mや59mでは解決できていません。	煙突排ガスによる影響予測は、周辺の標高差や地形を考慮した上で、環境基準を満たしていません。
47	意見	環境	大気	調査方法	(P57~P58) EA-3(認定こども園入口)では微小粒子状物質と降下ばいじんを調査していますが、EA-1(小山田公園)とEA-2(敷根道入口)では調査していません。これでは居住地の状況は不明となります。EA-3の春季降下ばいじん3.86t/km ² /30日は基準値10以下とはいえ、3.86トンもあることは大変なことと思われま。	降下ばいじんは、煙突等から出るすすの中でも比較的粒が大きく、煙突から近い範囲で降下するものを指します。この特性を踏まえ、より煙突に近い1地点で現況調査を実施しました。スパイクタイヤ粉じんにおける生活環境の保全の目安とされている、20トン/km ² /30日の2分の1を環境目標と設定しています。本調査結果と比較しても十分少ない数値です。
48	意見	全般	情報	—	9月15日の生活環境影響調査結果の報告会に参加させていただきました。当局の報告、説明なので良好な結果の報告だと思いましたが、小生が感ずるのは建設された後、問題・課題が起こってから、審議修正では手遅れだと思うのです。あの会場3名~4名の方の質問意見が出されましたが、彼ら、彼女らへの回答も含め、当局としての考えを全市民に説明して欲しいと願います。しっかりとした予測(健康面、環境面、財政面など)をしてください。	広報誌やホームページ(組合ホームページは年度内に完成予定)などにより、積極的に情報発信を行っていきます。
49	意見	減量・資源	減量化	減量化	生ゴミは土に還元する方法は考えていないのか。	生ゴミの処理は、組合構成市町においてキエーロや堆肥化の実証実験などの取組が進められています。
50	意見	減量・資源	資源化	資源化	ごみといいますが、ごみは資源です。世界の動きは燃やさずに資源化することです。	組合・構成市町では、「循環型社会の形成、ごみの適正処理に基づいた南伊豆地域全体における持続可能な地域社会の構築」を基本理念とし、3R・4Rによるごみの減量化・資源化を進めており、その上で出る、処理せざるをえないごみを焼却により適切に処理しつつ、熱エネルギーの回収や残渣の資源化を行う計画としています。
51	意見	全般	情報	—	広域化が進むと情報公開、情報提供も不十分なまま住民の声が反映されにくくなることを危惧しています。	施設の整備と運用に当たっては、適切に地域住民の皆様と情報共有していきます。
52	意見	減量・資源	資源化	資源化	今回の調査は、結果が出る前から、数値は低いだろうと予測できる所です。 焼却炉は、どんなに頑張っても、ダイオキシン等の猛毒を発生させます。今や、世の中がそれらに気づき、焼却から資源化へと進む中、なぜ焼却炉に固執するのでしょうか？ 間違えに気づいたなら、やり直せば良いのです。 正しい道に軌道修正すべきです。まだ間に合います。 将来の若者たちに、負の遺跡を残さないでください。無駄にお金を使い、人体に悪影響のあるものを作るのは、考え直してください。	組合・構成市町では、「循環型社会の形成、ごみの適正処理に基づいた南伊豆地域全体における持続可能な地域社会の構築」を基本理念とし、3R・4Rによるごみの減量化・資源化を進めており、その上で出る、処理せざるをえないごみを焼却により適切に処理しつつ、熱エネルギーの回収や残渣の資源化を行う計画としています。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
53	意見	計画・建設・運営	計画	その他	<p>今回のように誤りがこんなに多くある調査報告を信じなさいと言うことに矛盾を感じます。また今、国が指定している基準値は将来まで変わらない数値ではありません。</p> <p>しかしそれを根拠に建設の可否を決めることはやむを得ないとは思いますが、敷根地区教育施設の生活環境影響調査の数値と他地区教育施設の生活環境影響調査の数値を比較して、敷根の方が低い、もしくは同程度数値であるので問題が無いと言われた方が納得できます。</p> <p>下田の将来を担っていく子どもたちを少しでも良い環境で育てていくことは、私たち大人の責務ではないでしょうか？</p> <p>もし敷根地区の教育施設で高い数値が出た場合は、清掃工場を他地区に移すチャンスではないでしょうか？</p> <p>清掃工場があったところに中学校やこども園、敷根公園ができたので、今まではやむを得なかったのですが、このチャンスを逃がすと約20年間、また良くない環境の中で子どもたちが生活することになります。</p> <p>まさか小学校統合問題が出てきた時に、清掃工場がある敷根地区に小学校を持って来るなどということはないでしょうか？</p> <p>9月26日に行われた「『エコツーリズム』を学ぶ」のはじめの言葉で市長は「宇宙戦艦大和」を例に出し「今の地球でガミラス帝国は私たち人類なのかもしれない」というお話をされました。下田市がガミラス帝国にならないように慎重な対応をお願いいたします。</p> <p>別の視点からですが、今の清掃工場が本当に住民の健康に影響は与えていないでしょうか？因果関係が分からないので、影響なしとなっているだけではないでしょうか？</p> <p>清掃工場は他地区に建設すべきだと思います。</p>	<p>これまでに様々な議論を重ね、現施設用地を候補地とし、本調査を実施しました。本調査では、現時点での最新の知見に基づいて設定された基準と適切な比較を行っており、その結果、周辺地域の生活環境に支障を及ぼさないものと評価されております。</p>
54	意見	環境	ダイオキシン	その他	<p>ダイオキシン類の汚染が本当に心配される場所での調査結果なくして今のところに大きな焼却炉を建設するのは将来に禍根を残すと思われます。</p>	<p>計画施設によるダイオキシン類の影響は小さいと予測・評価されており、その上で計画施設には既存施設よりも厳しい自主基準値を設け、適切な運転管理を行います。</p>
55	意見	環境	ダイオキシン	その他	<p>平田川の汚染は即、海の汚染につながるため、海を守るためにも計画されている所に建設するのには反対です。</p>	<p>計画施設によるダイオキシン類の影響は小さいと予測・評価されており、その上で計画施設には既存施設よりも厳しい自主基準値を設け、適切な運転管理を行います。</p>
56	意見	計画・建設・運営	運転	運転管理	<p>排気ガスに含まれる汚染物質は新しい焼却炉では大幅に減るということですが、特にプラスチックを燃焼すると調査以外の有害物質がたくさん排出されます。ヨーロッパでは重金属類(カドミウム、タリウム、水銀、ヒ素、銅、コバルト、クロム、マンガン、ニッケル、バナジウム)について規制がありますが、日本では全くなく測定も監視もされていなかったのが水銀は大気排出規制が開始されています。しっかり測定されているとはいえず、年3回程度で良いそうです。連続運転の焼却炉の実態を監視するには不十分です。</p>	<p>計画施設の運転に当たっては、法令に従い適切な監視を行っていきます。</p> <p>なお、計画施設では容器包装プラスチックの資源化を行い、プラスチック使用製品廃棄物の将来的な資源化実施も考慮した施設とします。</p>
57	意見	全般	広域	—	<p>西伊豆町は分担金だけ出せば自分たちが出したごみを他市で燃やして迷惑をかけても良心の呵責を感じないのですか。自分のところで出したごみは責任をもって処理すべきです。</p>	<p>経済性・効率性・環境負荷の観点から、各市町単独ではなく、広域によるごみ処理事業を行うこととしています。</p>
58	意見	計画・建設・運営	建設	施設整備	<p>(P25) 1市3町では(H30~R4) 5年間で約4,000人の人口減となっています。54t/日規模の焼却炉は必要ありません。計画を見直すべきです。(燃さない方式を)</p>	<p>処理方式も、環境への影響や、整備・運用面など、様々な視点から検討し、人口の推移や、ごみの削減効果、災害廃棄物の処理能力の確保といった要素を検討した上で、規模を算定しています。</p>
59	意見	環境	騒音	騒音対策	<p>(P140) 表5-2-1既存資料調査結果(騒音) 国道135号は71dBで基準値(規制値) 70dBを超えています。また(P144) 表5-2-6(環境騒音、夏季) では昼間の平日58.3dBの規制値の55dBを超えると予測しています。</p> <p>清掃工場の労働環境上も問題ですし、生活環境上も改善が求められます。</p>	<p>施設に起因する騒音については、法律等を遵守し、必要な対策を講じていきます。</p>
60	意見	環境	騒音	調査方法	<p>(P161) 表5-2-16廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の予測を現況RSV-1(敷根道入口) 63dB増加量1.4dBで将来予測64dBとしています。RSV-2(子供側) の増加量1.9を適用すれば65dBの(基準値) 規制値を超えるものと予測される。</p>	<p>自動車騒音の予測は、RSV-2における増加量を条件の違うRSV-1に当てはめることは適切ではありません。</p>

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
61	意見	環境	騒音	騒音対策	(P162) イ.廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音対策では不十分です。清掃工場の設置場所の再検討をすべきです。	騒音対策は、必要に応じて、構成市町及び収集運搬事業者等と協力して取り組んでいきます。
62	意見	全般	調査	誤謬	どうして生活環境影響調査書(案)に誤りが生じていたのか。誤りのあるものを縦覧して意見を求めた責任はどのようにとるのか。調査をやりなおし、再度生活環境影響調査書をつくりなおすことを求める(調査書の信用を得るため)	調査書は、改めて全編を見直しました。
63	意見	全般	調査	誤謬	大気予測結果 ダイオキシン類について(98頁)数値の転記ミスとのことですが転記ミスがなぜ起きたのか明らかにしてください。	夏季の調査結果0.047pg-TEQ/m3を0.0047pg-TEQ/m3と誤って入力したものです。
64	意見	全般	調査	誤謬	この度の「広域ごみ焼却場建設のための生活環境影響調査」については、下記のようにあまたの疑問を感じざるを得ません。このようなずさんな調査をもって建設可とするということは、この調査そのものが「やりました」というエクスキューズのためのものと思われません。なぜ、現在すでに高齢化が進み、人口減少が著しい下田市と3町は、大規模な広域ごみ焼却場の建設を急ぐのでしょうか?その疑問には、昨今の中央政界の乱れを考えざるを得ません。大企業から莫大な献金を受けている自公政権が、最近うまみのある巨大プロジェクトがなくなった業界に配慮して、地方の弱小自治体に分不相応な建設事業を押し付けているのではないかと。そのような思惑にうかうかと乗せられて、市の総予算ほどの高額の焼却場を建設したらどうなるのか、人口が減少し、市民の意識が高くなってゴミが少なくなり、民営化のごみ焼却事業が成り立たなくなる、という未来は見えています。また日本の経済情勢を見ても、いつまでも今の低金利が続くとは思われません。市の負債が雪だるま式に膨らみ、市民の生活インフラさえまかなうことができなくなる、というのは杞憂に過ぎるのでしょうか?ずさんな生活環境影響調査を基にして広域ごみ焼却場を作るのは市民生活を破滅に追い込む恐れのあるものとして許すことはできません。	調査書は、改めて全編を見直しました。
65	意見	全般	調査	誤謬	74ヶ所も訂正される結果報告(案)がどうして公に縦覧されたのか。そんないい加減なものを住民に示しておいて、「間違っていました」だけで済まされるものでしょうか。まずもって、そのような杜撰な報告(案)は信用できません。そして、74ヶ所もの誤りがあるにもかかわらず、その説明が全くされていません。「住民には、丁寧に、かつ解りやすく説明する」といいながら、実際には『みらくルクル』臨時号A4版表裏1枚だけで、内容といえば「今回、訂正した項目を再評価した結果、基準値を超える項目はありませんでした。」というにとどまっています。これでは、どうして74ヶ所もの誤りが出てきたのが全くわかりません。その説明を住民の前で明らかにすべきだと思います。例えば、ごみの運搬車両台数が日平均225台から270台に変わったのはどうしてなのか、そして、その根拠となるのは何なのか、どういう計算なのか、何も説明されていません。説明して下さい。そもそもごみ運搬車両台数を日平均値で出して、それを基準として判断材料とすること自体、実体にあわないものではありませんか。実際には平均よりも多い400~500台、さらにそれを超える台数が来るだろう夏の海水浴シーズンや年末を念頭において判断しなければならないのではないのでしょうか。それがどれだけの台数になるのか明らかにされなければならないと思います。それらのことについて一切説明していない報告(案)は、この一点をみても全く信頼できるものではありません。	住民説明会に代わるものとして、見やすい新旧対照表や訂正例の資料を作成して、修正後の調査書(案)とあわせて縦覧に供するとともに、組合広報誌により誤りの概要を広報しました。
66	意見	全般	調査	誤謬	11月2日の全協で市長や環境対策課長は今回の再縦覧について市民に丁寧な説明をすると答弁していました。正誤表30頁74件にも及び訂正があったわけですからそれぞれの訂正について市民にわかりやすい説明をするのが当然だと思います。再縦覧に関する住民との対面の説明会を求めます。	住民説明会に代わるものとして、見やすい新旧対照表や訂正例の資料を作成して、修正後の調査書(案)とあわせて縦覧に供するとともに、組合広報誌により誤りの概要を広報しました。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
67	意見	全般	調査	誤謬	生活環境影響調査変更後の住民説明会を開催することを求めます。 説明会を（開く・開かない） 開かない場合、その説明を求めます。	住民説明会に代わるものとして、見やすい新旧対照表や訂正例の資料を作成して、修正後の調査書(案)とあわせて縦覧に供するとともに、組合広報誌により誤りの概要を広報しました。
68	意見	計画・建設・ 運転	建設	その他	南伊豆地域広域ごみ処理施設建設の話が出たとき私は、今の敷根のごみ焼却施設を他へ移転する大きなチャンスになるのではないかと期待しました。日頃から敷根一号線を通る時、焼却場の煙突から出る煙が気になっていました。子どもたちや運動公園を利用する人たちへの健康に対して、議員さんを含めて市政を執り行う人たちはもっと心を傾けていただきたいと思います(意見)	これまでに様々な議論を重ね、現施設用地を候補地として選定しております。計画施設には、既存施設よりも厳しい自主基準値を設け、適切な運転管理を行います。
69	意見	計画・建設・ 運営	計画	その他	私は本年9月28日、「敷根地区における生活環境影響調査についての問い合わせ」を広域ごみ処理計画を危惧する一員として提出しました。その回答が未だにされていません。市民からの質問に答えることなく事業を進めて良いものでしょうか。一刻も早い回答を求めます。 また、10月6日に南伊豆広域ごみ問題を考える住民ネットワークから下田市教育長に提出した問い合わせも回答はないと聞いています。さらに、10月30日に生活環境影響調査の再縦覧についての申し入れ（住民説明会の開催のお願い）、11月27日の追加の問い合わせも連絡がないとのことです。直近では12月4日南伊豆地域清掃施設組合管理者松木正一郎様、他副管理者・構成団体首長の皆様への要請書も連絡・文書回答がなされていないとの事です。 今、資源の枯渇からリサイクル・再資源化、地球温暖化回避の一つとしてCO2抑制など、今を生きる私たちに求められています。この時代にふさわしいごみ処理を行うには行政と住民との対話・協力が不可欠だと思います。住民からの疑問・意見に耳を傾け誰かの負担の上に成り立つようなごみ処理はいけないと思います。 住民の声を真摯に受け止め、広域ごみ処理を強引に進めるのはやめてください。この計画は中止してください。	これまでに様々な議論を重ね、現施設用地を候補地とし、本調査を実施しました。本調査では、現時点での最新の知見に基づいて設定された基準と適切な比較を行っており、その結果、周辺地域の生活環境に支障を及ぼさないものと評価されております。
70	意見	全般	調査	誤謬	生活環境影響調査で、業者の転記ミスで47ヶ所の訂正箇所が発生しました。 業者には、責任があると考えます。業者の説明と謝罪を求めます。 説明と謝罪を（させる・させない） させない場合、その説明を求めます。	事業者から謝罪と再発防止策の説明を受けています。 組合でも、より慎重に臨んでいきます。
71	意見	全般	調査	結果	確かに猛毒のダイオキシン等の言葉を聞くと不安にさせられますが、生活環境影響調査の結果から大気質・騒音・振動・悪臭・水質・土壌汚染の全てにおいて、環境基準値及び規制値を下回っているため、問題ないと思います。	今後もより、住民の理解を得られるよう、情報発信に努めます。
72	意見	計画・建設・ 運転	運転	運転 管理	今般の調査結果では、大気質、騒音、振動、悪臭及び土壌について現況調査及び将来予測を実施されたものですが、結果として全ての項目で環境保全目標を満足させているようでご同慶の至りです。 また、環境保全対策を適切に実施することにより、広域ごみ処理施設の建設・稼働に伴う周辺環境への影響が十分に回避、抑制されるものと考えられます。 今般の結果を受けて、周辺の環境への影響は小さく、生活環境に支障が及ぶとは考えられないことを理解しました。ただし、今後も良く監視していくことは必要です。宜しくお願いします。	今後もより、住民の理解を得られるよう、情報発信に努めるとともに、広域ごみ処理施設の建設・稼働に伴う周辺環境への影響については、十分に配慮し、適切に進めてまいります。
73	意見	全般	調査	結果	環境影響調査書を確認したところ、大気質、騒音、悪臭、水質、土壌汚染は、全ての項目で環境保全目標を下回っています。 また、6-2に記載された、環境保全対策を実施することにより、更に周辺環境への影響は少なくなるものと思われれます。	今後もより、住民の理解を得られるよう、情報発信に努めます。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
74	意見	計画・建設・運転	運転	運転管理	<p>今回の生活環境影響調査では、大気質調査において安全側の視点から現地調査による既存施設の影響を含むバックグラウンド濃度に、さらに広域ごみ処理施設の影響を上乗せする形で予測を行い環境基本法第16条第1項による大気汚染に係る厳しい環境基準をクリアしていることを確認しました。また、建設候補地周辺の環境保全上配慮が必要な施設周辺3地点での現地調査を行い調査項目についても大気質に関する環境基準値及び指針値を下回る結果であり、計画施設においては、煙突からの大気汚染物質排出量を削減するため、燃焼管理による発生抑制を行うこと、粉じんの最大の発生源と考えられる破碎機については、資源化施設内のさらに専用部屋に格納されることから、屋外への飛散は最小限に抑えられると考えられる。その他選別施設等も全て資源化施設の建物内に格納され、通常作業時においては開口部を閉じるなど、屋外への飛散は少ないと考えられることから、大気汚染の影響は十分に回避・低減できる広域ごみ処理施設になるであろうと認識できました。</p> <p>今後とも建設や稼働にあたり、生活環境に支障を及ぼさないよう十分な配慮をお願いいたします。</p>	<p>今後もより、住民の理解を得られるよう、情報発信に努めるとともに、広域ごみ処理施設の建設・稼働に伴う周辺環境への影響については、十分に配慮し、適切に進めてまいります。</p>
75	意見	全般	調査	誤謬	<p>74か所の修正には正直驚きました。内容をホームページより閲覧させていただきましたが数字の誤りや桁の違い又、文書の訂正や付け加えが殆どで結果的には国の定めた様々な基準値には影響はないとの事で安心していきます。ただしこの環境アセスメントの結果については住民の皆様に対して閲覧していただく大変重要な資料である事からアセスメントを実行した事業者、又それを受理した当局も確認作業が不十分だった事に住民は不信感を抱いたかもしれません。今後はこの様な事が起きないように十分気をつけていただくよう望みます。</p>	<p>チェック体制を強化するとともに再発防止に努め、今後、広域ごみ処理施設の建設・稼働に伴う周辺環境への影響については、十分に配慮し、適切に進めてまいります。</p>
76	意見	建設運転		運転管理	<p>賀茂地域の広域連携が進む中、このゴミ施設の建設は喫緊に取り組む事業の1つです。市民の皆様、現焼却場の現状をいかが考えますか。</p> <p>焼却場の対応年数は20～30年とされています。現在下田市の焼却場は1982年に建設されすでに41年が過ぎ、耐震が成されておりません。</p> <p>建物の老化、施設内の鉄骨の腐食、階段の錆など大変危険な状態です。焼却場を早期建設する事が現在ここで働いている方々の安全を守る事にもつながります。</p> <p>環境問題に対し、下田中、敷根プール、認定子ども園、及び弘洋園でも今まで排ガスの影響を受けたとの児童、生徒、住民の報告はない」と当局、自治体の関係者は回答しております。このような報告、又国の表す様々な基準値を現時点でも下回っている事、新しく建設される施設はその数値より更にきびしい数値を設定し、それをクリア出来る施設としています。</p> <p>この様な報告をなぜ疑問視し信じられないのか理解に苦しみます。</p> <p>環境アセスメントの結果が訂正され報告されたことにより、この事業を淡々と進め早期の完成を望みます。(敷根公園、下田中、認定こども園のグラウンドの土壌調査をするべきとの意見がありますが予算、時間の余裕があるなら実行していただきたいと思います。不安箇所については調査し納得していただく事が賢明だと思います。但しその後違った箇所や問題を提議されても受け付ける事はしないでほしいと思います。なぜならそれはきりのない事であり、これからの事業に支障をきたし完成を遅らせるだけであるからです。)</p>	<p>周辺環境への影響にも十分配慮し、早期完成を目指してまいります。</p>
77	質問	環境	ダイオキシン	未掲載	<p>予測ではこども園の近傍にある山頂付近の地点に排出物質の濃度が高いところがあります。こども園で予測される排出物質の濃度はどのくらいになりますか？</p>	<p>ダイオキシン類を例とすると、下田認定こども園の園庭中心では、 表5-1-37（煙突高50m）での寄与濃度① →0.00061pg-TEQ/m3 表5-1-38（煙突高59m）での寄与濃度① →0.00045pg-TEQ/m3 となります。</p>
78	意見	環境	ダイオキシン	予測評価	<p>土壌のダイオキシン類の将来予測が現地調査の値と変化がありません。これは、20年後、30年後でもこの値が予想されるという意味ですか？</p>	<p>煙突排ガスによる影響はほとんどないと予測しております。</p>

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
79	質問	環境	ダイオキシン		調査項目の大気質3のところ、ダイオキシン類の基準値が0.6ピコグラム以下となっていますが、この数値は認定こども園に通う0歳から6歳までの小さな子どもたちにも当てはまる数値なのではないでしょうか？	子どもから大人まで、人が生活する場所であれば全ての場所の空気に適用されます。
80	質問	計画・建設・運営	計画		当初の計画では、69tの炉でしたが、59tになり更に54tとなりました。どういう試算なのでしょう？	構成市町から排出される廃棄物の量に加え、災害廃棄物対策を見込んでいます。構成市町の廃棄物の減量化の取組等による、廃棄物の想定量を反映したものとなっています。
81	意見	環境	大気	現況調査	(p16) 光化学オキシダント観測結果（下田市役所）は、環境基準を超過が5年間（H29～R3）続いている。 (P9) 1日平均270台の車両が搬入してきては、環境の悪化をきたすことになる。どのように解消するのでしょうか。	光化学オキシダントの原因の一つである、二酸化窒素濃度について影響を予測しましたが、その予測結果は、環境基準と比較して十分小さいものでした。
82	意見	環境	大気	現況調査	光化学オキシダントの観測結果が環境基準を超過している。ごみ車によって、どのように更に悪化するのか。NOx、SOx、水銀、カドミ等についても再び予測をしないする必要があります。	光化学オキシダントの原因の一つである、二酸化窒素濃度について影響を予測しましたが、その予測結果は、環境基準と比較して十分小さいものでした。
83	質問	減量・資源	減量化	減量化	(P6) 20年間も生ごみを分別処理もせず燃し続けることは問題です。食品ロス削減推進法はいつ実施するお考えでしょうか。	現在、食べきり・使いきりに関する啓発や、食品回収ボックスの設置などの取組みが行われています。構成市町と協力し、燃えるごみの一層の減量化に努めます。
84	質問	計画・建設・運営	計画		(P12) 焼却施設で採用する排ガス処理方式は現状とどこが違うのでしょうか。またその効果はどうなっていますか。	処理方式は施設整備基本計画に記載がありますが、詳細は施設の発注仕様書を作成する中で設定します。 既存施設よりも厳しい自主基準値を設定し、その基準値を守ることができる施設整備や、運転管理を事業者に求めます。
85	質問	環境	ダイオキシン		排出ガス量（自主基準値）ダイオキシン類を0.01ng-TEQ/m3以下を0.1ng-TEQ/m3以下と訂正されたが、これをどのように実現するのか明らかにして下さい。現在、下田市の炉の実績はR4 0.43ng-TEQ/m3Nとなっているし、例示されている指宿広域クリーンセンターR4 1号炉は0.34ng-TEQ/m3N、山鹿市環境センターR5 1号炉0.11ng-TEQ/m3N。	既存施設よりも厳しい自主基準値を設定し、その基準値を守ることができる施設整備や、運転管理を事業者に求めます。
86	質問	計画・建設・運営	計画		(P26) 建設候補地の一部は準工業地域に指定されているが、一部は用途地域の指定のない地域である。建築基準法や都市計画にもとづいて許可はどのようにすすめるのでしょうか。	法令に基づいて、所定の手続を適正に進めます。
87	意見	計画・建設・運営	計画	運搬車両	(P28) 県道119号下田南伊豆線の24時間交通量は2836台に対して（P78）敷根道路入口の搬入車2946台搬出車2822台合計5768台となります。渋滞や排ガス公害、騒音による環境悪化にどう対応するのでしょうか。	廃棄物運搬車両の排ガスや騒音による影響は小さいと予測しています。また、交通対策については、必要に応じて、構成市町及び収集運搬事業者等と協力して取り組んでいきます。
88	意見	環境	水質	—	西本郷地内の普通河川並びに敷根地区を含めた地下水の調査が実施されていませんが必要はないのでしょうか？	本調査は、環境省指針に沿って実施しています。 計画施設は、合併浄化槽で処理した水も、施設内で再利用する計画としているため、環境省指針により不要とされています。
89	質問	環境	ダイオキシン		施設建設後のダイオキシン類の汚染状況が現状よりも数段よくなるという報告ですがその根拠を明らかにしてください。	計画施設は既存施設よりも厳しい自主基準値で運用することで環境負荷の軽減に寄与するものと考えます。
90	意見	環境	大気	調査方法	現状の排気ガスの排出総量並びに、有害物質の調査は実施されたのでしょうか？	本調査は、環境省指針等に基づき、周辺地域の現況把握を目的とした調査の項目・地点・頻度等を設定しております。
91	意見	環境	ダイオキシン	予測評価	2022年度の下田市の一般会計決算報告書によると、一号炉のダイオキシン類は0.4ナノグラムとなっています。この数値は大気中の環境基準の700倍にあたる数値であり、この排気ガスが拡散されないまま漂っている状況が明らかになっています。認定こども園や市立中学校、敷根公園などの子どもたちや、そこを利用する市民の健康被害、つまり排気ガス公害が懸念されていますがどのようにお考えでしょうか。	予測結果は、環境基準を満たし、健康に影響は生じないと評価されています。

意見番号	種類	大分類	中分類	小分類	意見	見解
92	意見	全般	調査	結果	当初から現況並びに、将来的にも問題はないとする結論づけるための調査が進められたとしか考えられません。断定的なもっとも影響の出にくい場所での測定をもって問題はないとする宣伝のような結論に合理性はないと考えますがいかがでしょうか？	本調査は、環境省指針等に基づき、周辺地域の現況把握を目的とした調査の項目・地点・頻度等を設定しており、いずれも環境基準を満たしています。
93	意見	環境	大気	予測評価	24時間連続運転と逆転層の影響 予定地周辺では冬期に18時から翌朝まで大気の逆転層ができると調査されています。この時間帯に屋外で運動する事など避けた方が良いという事でしょうか。	逆転層を考慮した予測も行いましたが、健康への悪影響が生じるような濃度にはならないという結果であり、屋外での活動に問題はありません。
94	意見	環境	ダイオキシン	予測評価	予測結果は二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、塩化水素などは出ていますがダイオキシンはありません。どう理由でしょうか。	ダイオキシン類については、長期的に暴露された場合に悪影響が生じるおそれがある物質のため、環境基準も年平均値で比較評価しています。
95	質問	計画・建設・運営	計画		パッカー車などが、入場してから退場までに要する時間は何分ですか。	本調査では、御質問の予測はしていません。
96	質問	計画・建設・運営	計画		年間で、パッカー車などの搬入最大日の搬入予測台数は。	本調査では、御質問の予測はしていません。
97	質問	計画・建設・運営	計画		年間で、パッカー車など搬入最大日の最大時間帯の搬入予測台数は。	本調査では、御質問の予測はしていません。
98	質問	計画・建設・運営	計画		脱水污泥の搬入量について、ご回答ください。 推計 トン 内訳 下田市 トン 南伊豆町 トン 松崎町 トン 西伊豆町 トン	脱水污泥処理量 774t 内訳 南豆衛生プラント 507t、松崎町 99t、西伊豆町 168t (令和11年度予測)
99	質問	全般	情報		新廃棄物処理場完成後、今回の生活環境影響調査結果のダイオキシン類の数値やゴミ処理の経費を下げるにはゴミの減量と分別化が不可欠と考えます。 ゴミの量を減らすには、かなり時間がかかると考えられますので、今から説明会などを度々開いて理解を得て周知徹底しなければならないと考えます。 質問 説明会を開く予定はありますか。 (ある・ない) ある場合、いつになるのか(年 月)頃より ない場合、その理由は：	組合・構成市町で連携し、取り組んでいきます。